

会 議 録

| | | | |
|--------------------|---|-------------------------------------|----|
| 会議名 | 令和3年度第1回相模原市障害者自立支援協議会 | | |
| 事務局 (担当課) | 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 電話 042-758-2121 | | |
| 開催日時 | 令和3年6月30日(水) 午後2時から4時まで | | |
| 開催場所 | Teamsを使用したウェブ会議 | | |
| 出席者 | 委員 | 出席16人 欠席3人 | |
| | その他 | 福祉基盤課2人 | |
| | 事務局 | 6人 市：高齢・障害者福祉課2人 社会福祉事業団：生活相談課4人 | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 2名 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | / | | |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状について 2 委員及び事務局職員自己紹介 3 自立支援協議会について 4 会長及び副会長の選出について 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度協議会の体制、各部会の役割等 (2) 日中サービス支援型共同生活援助の評価方法の見直しについて 6 その他 7 閉会 | | |

令和3年度 第1回相模原市障害者自立支援協会委員名簿及び出欠状況

| No. | 区分 | 所属・職 | 氏名 | 出欠 |
|-----|----------------|--|------------------------------|----|
| 1 | 障害者等関係団体 | 相模原市障害福祉事業所協会 会長 (やまびこ工房 施設長) | なかしま ひるゆき 中島 博幸 | 欠 |
| 2 | | 相模原市障害福祉事業所協会 代表総務 (くりのみ学園 園長) | いまい やすのり 今井 康雅 | 出 |
| 3 | | 相模原市障害福祉事業所協会 人権委員会 委員 (城山障害者デイサービスセンターつ くしの家 統括責任者) | きづ よしえ 木津 芳枝 | 出 |
| 4 | | 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長 | にしむら さぶろう 西村 二郎 | 出 |
| 5 | | (福)相模原市社会福祉協議会 南区事務所 長 | あべ ゆきお 阿部 幸夫 | 出 |
| 6 | | 相模原市民生委員児童委員協議会 常任理 事 | きたがわ はるえ 北川 春恵 | 出 |
| 7 | 指定相談支援事業者 | 橋本障害者地域活動支援センター ぷらす かわせみ 施設長 | なかたに まさよ 中谷 正代 | 出 |
| 8 | | 子ども相談支援リボン (NPO法人ワンダ ートンネル 理事長) | ちや ふみこ 千谷 史子 | 欠 |
| 9 | 障害者等及びその 家族 | (特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡協 議会 副会長 | はねだ ひさし 羽田 彌 | 出 |
| 10 | | (特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡協 議会 理事 | かたおか かよこ 片岡 加代子 | 出 |
| 11 | | (特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡協 議会 理事 | まつばら みちこ 松原 充子 | 出 |
| 12 | 保健・医療関係者 | 相模原市医療ソーシャルワーカーの会(北 里大学病院トータルサポートセンター ソ ーシャルワーカー) | だいなか たく 提中 拓 | 出 |
| 13 | 教育関係機関の職員 | 神奈川県立相模原中央支援学校 総括教諭 | しまづ ようこ 島津 陽子 | 出 |
| 14 | | 教育局 学校教育部 学校教育課長 | なかむら れんたろう 仲村 廉太郎 (代理) | 出 |
| 15 | 関係行政機関の職員 | 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包 括ケア推進課長 | たかもと たつひこ 高本 辰彦 | 出 |
| 16 | | 健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・ 障害者福祉課長 | よねやま まもる 米山 守 | 出 |
| 17 | | 健康福祉局 地域包括ケア推進部 精神保 健福祉課長 | すずき まさふみ 鈴木 雅文 | 出 |
| 18 | | こども・若者未来局 陽光園 所長 | あまの とおる 天野 徹 | 欠 |
| 19 | 学識経験者 | 田園調布学園大学 教授 | むらい ゆういち 村井 祐一 | 出 |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(◎は会長、○は委員、■は事務局の発言)

1 委嘱状について

事務局より、次のとおり説明を行った。

■ 委員の任期については2年任期となっており、今年度から新たな任期となる。市の職員以外の委員に委嘱状を交付する。(郵送)

2 委員及び事務局職員自己紹介

資料1に沿って自己紹介を行った。

3 自立支援協議会について

事務局より、資料2及び資料3に基づいて自立支援協議会の位置づけや役割、障害福祉計画との関係、日中サービス支援型共同生活援助の運営との関係について説明を行った。

4 会長及び副会長の選出について

委員の互選により、村井委員が会長に、今井委員が副会長に選出された。

5 議 題

(1) 令和3年度協議会の体制、各部会の役割等

事務局より、資料4から資料9に基づいて説明を行った。

また、昨年度までの取組の中から見えてきた課題に対応するため、今年度から次のとおり体制を見直したことについて補足説明を行った。

ア 地域課題調整部会では必要に応じて、当事者及び当事者団体の参加、プロジェクトチーム等の設置、専門部会との連携を行うことで、各区における地域課題に対しての調整を図る体制とする。

イ 進捗状況を踏まえた上で、部会毎に次回開催日を協議の上で設定していく。

ウ 開催通知や会議資料については、書面で送付を希望される委員以外には、メールで送付する。

エ 官民協働の下で意見を焦点化する難しさはあるが、市の障害者プラン等を根拠に、障害者支援に求められているものを明確にしながら、委員の意見について焦点化を目指す。

(2) 日中サービス支援型共同生活援助の評価方法の見直しについて

福祉基盤課より、資料10に基づいて説明を行った。

質疑応答は次のとおり。

○ 日中サービス支援型共同生活援助の評価の対象事業所については、毎年増えていくという理解でよろしいか。

■ そのとおり。

○ 毎年対象事業所が増えていくと考えられるが、その全てに対して自立支援協議会が関わって評価をし続けるということか。

■ 基準に則り、ワーキンググループの中で全ての対象事業所について評価を行っていきたい。

○ 日中サービス支援型共同生活援助の評価については、自立支援協議会設置要綱の協議事項に明確に規定されていないが、相当の労力や時間を要すると考えられるため、設置要綱の協議事項の中に定めるべきではないか。

■ 今後の状況を見ながら、設置要綱の改正について検討していきたい。

協議の結果、日中サービス支援型共同生活援助の評価方法の見直しについては満場一致で承認された。

6 その他

(1) 次回について

協議の結果、令和3年10月頃開催することとなった。

(2) 緑区課題検討会からの報告について

中谷委員より、次のとおり報告があった。

○ 緑区課題検討会では、令和元年度より障害のある方の地域生活を支援していけるように社会資源マップの作成に取り組んできた。今年度も継続して、取組を進めており、全体会議の開催に先駆けて部会やワーキングを開催してきたところである。現在、かながわ福祉サービス振興会のホームページの中で運用されている「地域包括ケア支援システム」に緑区の社会資源情報を落とし込み、より使いやすく身近な社会資源マップとして活用することを検討している。このことについては、今後全体会議に対して提案書を提出したいと考えているため、次回開催時に協議していただきたい。

7 閉会

今井副会長より閉会のあいさつがあった。

以上